

第3回



資料2

景観行政における今後の施策の方向性に関する検討懇話会

第2回懇話会でのご意見とその対応

令和8年2月3日（火）

兵庫県まちづくり部都市政策課

第2回 懇話会

- 日時 令和7年12月17日(水)
- 場所 兵庫県立ひょうご女性交流館 3階 301会議室
- 議事 景観行政における今後の取り組むべき方向性
- 要旨 テーマ及び観点ごとに今後取り組むべき内容を検討

景観行政の今後の方向性について(提言)

ご意見	対応(案)
<p>神社仏閣をコンサートや国際会議の会場として活用し、その収益を保全に充てる取り組みが進んでいる。補助金に頼るのではなく、自ら資金を生み出す工夫が重要である。</p>	<p>「景観行政の今後の方向性について(提言)」中に<u>行政主導や補助金頼みの景観まちづくりではなく、地域の担い手に利益が還元される民間主導の循環型の取組への転換を市町と連携しながら進めていく必要があると記載する。</u> ▶資料1 P8</p>
<p>建築物を特定してふるさと納税を活用する場合、公益性の担保と県の認定が必要であり、返礼品制度の制約(県外寄附のみが対象)等を踏まえ、県がサクセスストーリーをつくり市町による寄附へ広げることで県全体の景観形成支援事業を応援する体制を意識的に展開することが必要である。</p>	<p>ふるさと納税の活用を含む全ての取組について「景観行政の今後の方向性について(提言)」中に<u>取組のプロセスや成果を事例として整理・定型化し、市町の取組のモデルとなるよう提供することで、県全体の景観形成を推進することを記載する。</u> ▶資料1 P8</p>

【観点①】 住民や民間主体の景観まちづくりの推進

ご意見	対応(案)
<p>エリアマネジメントの枠組みは建築物の利活用が中心だが、地域によっては道路や河川などの公共空間を積極的に活用する可能性も含めるべきではないか。</p>	<p>観点①の「(1)地域が主体となった景観まちづくり」中に<u>地域の景観の構成要素でもある水路や公園、道路などの公共空間も積極的に活用(する)ことを記載する。</u> ▶ 資料1 P9</p>
<p>大学生などによる次世代の担い手育成の取組として、県内41市町ごとに調査研究を1件ずつ実施してはどうか。</p>	<p>観点①の「(2)景観まちづくりの担い手の育成」中に<u>市町ごとに高等専門学校又は大学の学生による地域調査を通じて地域との関係性を深めることにより、次世代の担い手候補を育成することを記載する。</u> ▶ 資料1 P9</p>

【観点②】 観光・地域振興に向けた景観資源の活用の方策

ご意見	対応(案)
<p>景観資源を活用したグッズ作成を通じて、景観への関心を高める取組を検討してはどうか。</p>	<p>観点②の「(1)地域景観の特性や魅力を情報発信」中に、<u>景観をテーマにしたオリジナルグッズの製作や、県の景観をオープンデータ化し、オンライン会議ツールの背景画像として活用してもらう取組等を通じて、県の景観への関心を高めることを記載する。</u> ▶ 資料1 P10</p>
<p>CiscoやZoom、Teamsなどのオンライン会議の背景に「<u>ひょうご景観ビューポイント150選</u>」の写真を採用し、県や地域名をクレジット表示して売り込む取組を進めてはどうか。</p>	<p>観点②「<u>関係部局…</u>」を「(2)関係機関と連携した景観資源の活用」とし、<u>関連学会や専門フォーラムに積極的に周知・発表することを記載する。</u> ▶ 資料1 P10</p>
<p>景観資源の魅力発信のため、<u>土木や都市計画などの学会を積極的に誘致</u>してはどうか。</p>	<p>観点②の「(3)新たな景観資源の発掘」中に<u>デジタル技術を活用した取組を検討することを記載する。</u> ▶ 資料1 P10</p>
<p>景観資源の発掘において、<u>新たにドローンやAIなどのデジタル技術を取り入れる</u>ことを検討してみてもどうか(例:上空から棚田を撮影する等のイベントなど)。</p>	<p>提言を踏まえた実現プランの例示として列記する。 ▶ 資料1 P12</p>
<p>ホームページのリニューアルでは、景観を支える人々に焦点を当てた情報発信に加え、<u>建築士やランドスケープなどの専門家の役割や仕事を紹介する仕組み</u>を設けてはどうか。</p>	<p>提言を踏まえた実現プランの例示として列記する。 ▶ 資料1 P13</p>

【観点③】 景観形成に寄与する建造物等の持続する保全の在り方

ご意見	対応(案)
<p>建築の分野だけでなく、庭園や造園を扱うヘリテージマネージャーも景観形成に重要であることを明記すべきではないか。</p>	<p>観点③の「(2)景観保全を支えるネットワークの構築」中に、<u>各分野(庭園・樹木等)での専門家との情報共有する体制も強化すること</u>を記載する。 ▶ 資料1 P11</p>
<p>ふるさと納税の返礼品として「ひょうご景観ビューポイント150選」を巡る体験型のイベントや宿泊・食事を組み合わせたパッケージを導入し、寄附促進を図ってみてはどうか。</p>	<p>提言を踏まえた実現プランの例示として列記する。 ▶ 資料1 P13・14</p>
<p>地方新聞などの紙媒体を活用して「ひょうご景観ビューポイント150選」を掲載し、ふるさと納税の案内やQRコードでホームページへ誘導する仕掛けを検討してはどうか(高齢層への情報発信や寄附促進につながる可能性がある。)</p>	<p>提言を踏まえた実現プランの例示として列記する。 ▶ 資料1 P14</p>